



～みのわだの里・さしらの里～

みのわだ(箕和田)の里からさしらの里(佐代・佐城)の歴史あふれる東粉河街道(東日根街道)を探索するコースをまとめました。

昔みのわだ(箕和田)と呼ばれた今の和田地区は、岸和田城主に岡部美濃守公がなられた時、同じ「みの」の呼び名では失礼に当たると言うことで「みのわだ」のみをとって和田と呼ばれるようになったそうです。また朝代は、昔さしらと云われていたのがなまって朝代となったと云われている事が熊取が誇る江戸期の文化人中盛彬が著書に記しておられます。この地域も熊取南部の歴史の宝庫、野外博物館です。

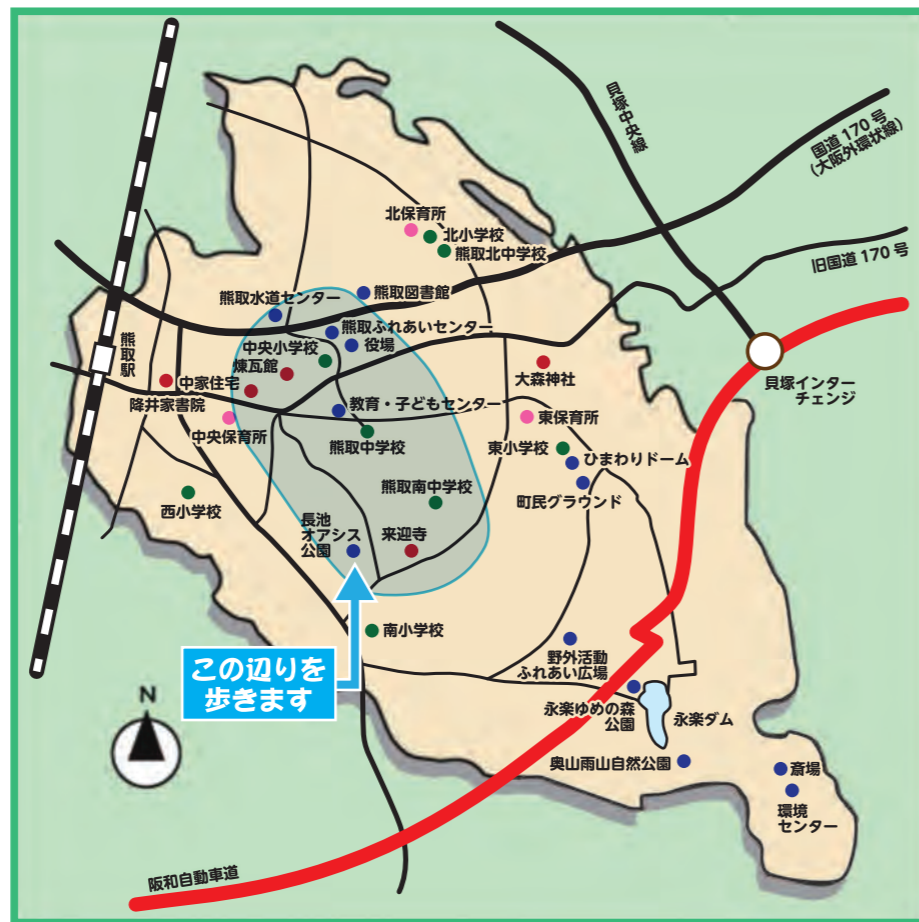


健康くま隊って?

正式名称は「健康くまどり探検隊」です。

健康日本21、健康くまどり21の推進として「ひとりひとりがいきいきと豊かに暮らせる健康なまちづくり」を目指し、健康を幅広い視野で捉えて自分と地域みんなの健康づくりに役立つ活動の企画や実践をしている健康づくりグループです。町内ウォーキング、マップ作り、体力測定の実施などを行っています。メンバーはこの活動に賛同する町民によって組織されています。

事務局は熊取町健康・いきいき高齢課 (TEL 072-452-6285)です。興味のある方は是非お問い合わせください。



この辺りを歩きます

健康ウォーキングメモ

マナーを守って、心も身体も生き生き 快適にウォーキングしましょう!

●ウォーキングマナー 五ヶ条

1. やあ! お早う 明るい挨拶 さわやかに
2. 信号で あわてず あせらず 待つ余裕
3. ひろがるな 参加者だけの道じゃない
4. 自分のゴミ 自分の責任 もち帰り
5. 歩かせて いただく土地に感謝して

●ウォーカー心得

1. 帰るときは来たときよりも美しく
2. 写真以外とはとるべからず
3. 足跡以外を残すべからず

(日本ウォーキング協会 ホームページより)



健康くま隊 おすすめ!

歩いて・見て・感じて…くまどり再発見!

シリーズ5



ものしい健康歩く路

行程: 約6.8km

時間: 約136分

～みのわだの里・さしらの里を巡り粉河街道から長池オアシス公園へ～

こんな見どころがあるよ!

このマップは「健康くま隊」のメンバーが、「くまどりをもっと知ってほしい」という思いから、まちにある昔からのなつかしい路を、テーマ別にわかりやすく解説し、シリーズにしていくものです。是非日頃のウォーキングロードの途中に加えてください。

このコースは、南山の手台の和田地区から粉河街道を通り、朝代地区の史跡を訪ね長池オアシス公園に至る歴史の豊富なおすすめルートです。

らいごうじ ほんどう 来迎寺本堂



山号を円覚山と言ひ曹洞宗永平寺派の禅寺で、阿弥陀如来座像を本尊とし、もと天台宗でしたが後、真言宗に転じ元禄2年(1689)曹洞宗に改宗されたそうです。本堂は、重要文化財です。応永31年(1424)銘のある鬼瓦が保存されています。又、煉瓦館にも享保3年(1718)屋根修理時の鬼瓦が保管されています。

ほうがんじ 法願寺



山号を東光山と言ひ曹洞宗永平寺派の禅寺で、薬師如来座像を本尊として祀っています。天文8年(1539)の中家文書に「朝代宝願寺」の名が見えることから創建はそれ以前と言われ宝願寺の法灯を引き継ぐ寺と言われています。この寺も天正13年(1585)秀吉の根来攻めの兵火にかり焼失し、その後正法寺燈外和尚によって再建されました。

うえのみやみょうじん はちまんじんじゃあと 上の宮明神・八幡神社跡



法願寺前の道を少し北へ進むと左手フェンスで囲われた草むらに二基の石祠があり、屋根の前面には寛永年間の刻文字があります。これらの神社はもと法願寺裏手にあったそうです。明治の神社合祀令によって大森神社に合祀されました。

いしとうろう 石燈籠



金比羅大権現・天照皇太神宮と刻まれた二基の立派な燈籠があり昔このあたりに氏神さんの社があったそうです。朝代地区の神社はすべて大森神社に合祀されました。往時の金比羅・伊勢信仰の深さが偲ばれる貴重な遺産です。